

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成 27 年 3 月 23 日

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画 (その2)			
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	泉佐野市	
計画の目標				

下水道整備を計画的に行い、市民にとって快適で衛生的な生活ができるまちづくりを目指す。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・下水道処理人口普及率を35.2% (H27年度当初) から38.5% (H31年度末) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	備考
35.2%	36.9%	38.5%	

下水道処理人口普及率  
= (下水道を利用できる人口 (人) / 住民基本台帳人口 (人)) ※住民基本台帳人口:平成26年3月31日現在 101,554人

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,890 百万円	A	1,870 百万円	B	百万円	C	20 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.1%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-----	---	--------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
A1-1	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	汚水	新設	湾岸中部処理区 汚水管渠整備事業	汚水管渠φ=200~300mm, L=9km, A=36ha	泉佐野市						1,870	
小計 (下水道事業)											1,870						
合計											1,870						

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						-	
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----



C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
C-1	下水道	一般	泉佐野市	間接	個人	新設	水洗便所改造奨励金交付事業	交付金5万円×400件	泉佐野市						20	
合計											20					

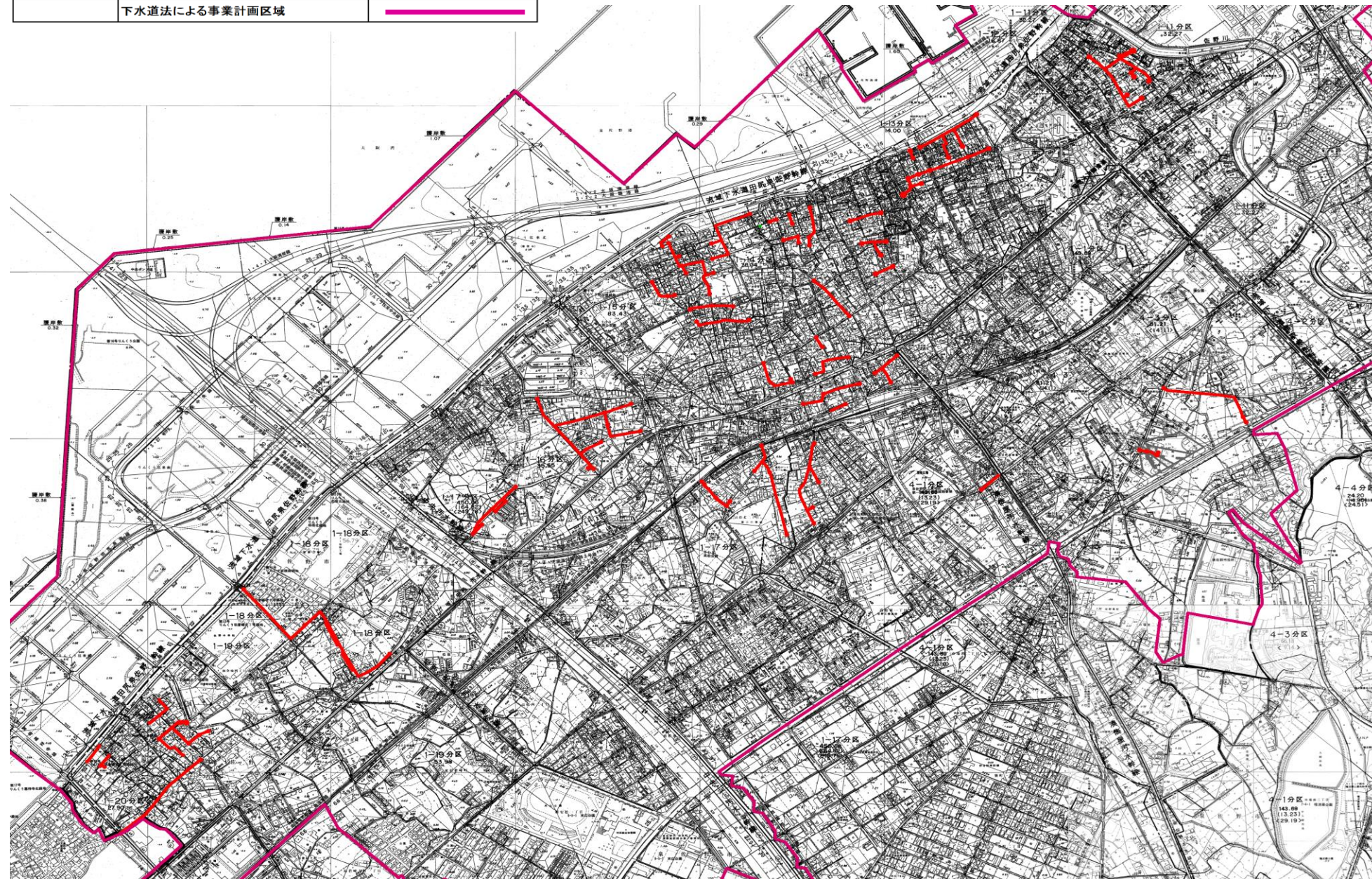
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C-1	水洗便所改造奨励金を交付することにより下水道利用を促進し、事業効果拡大を図る。															
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

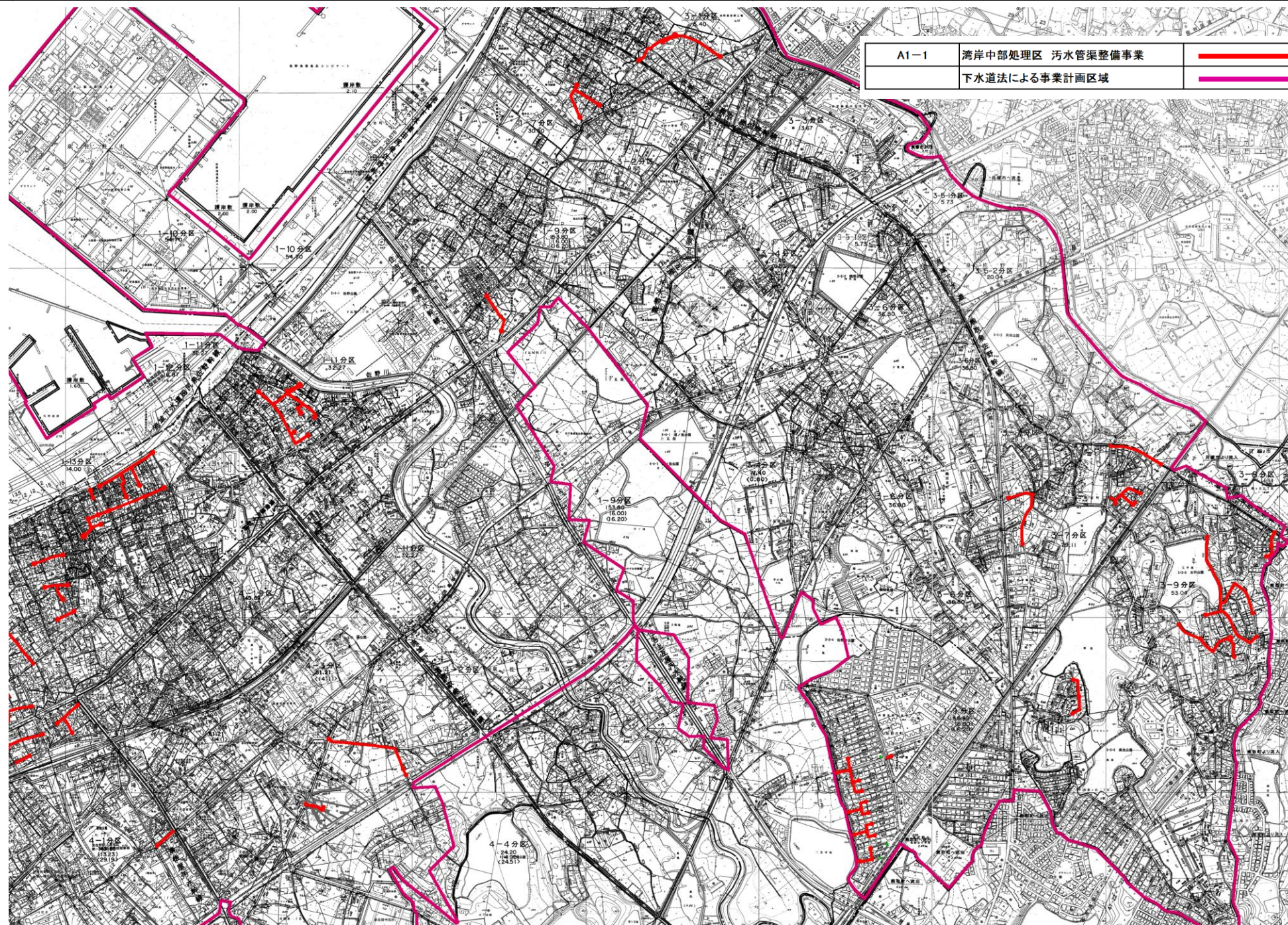




計画の名称	泉佐野市下水道整備計画 (その2)		交付対象	泉佐野市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)			

A1-1	湾岸中部処理区 汚水管渠整備事業	
	下水道法による事業計画区域	



計画の名称	泉佐野市下水道整備計画 (その2)		交付対象	泉佐野市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)			



A1-1	湾岸中部処理区 污水管渠整備事業	
	下水道法による事業計画区域	

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 泉佐野市下水道整備計画(その2)

事業主体名: 泉佐野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針との適合等	
1) 計画の目標が『泉佐野市都市計画マスタープラン』など、基本方針と適合している。	○
2) 『大阪湾流域別下水道整備総合計画』など、上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 継続的な社会資本整備が必要とされている。	○
3) 計画(事業)の必要性について市民の理解を得られている。	○